

スパークギャップ;スパークギャップを用いる過電圧避雷器;スパークプラグ;コロナ放電装置;密閉されない気体中へ導入されるイオンの発生 (過電圧保護回路 H02H)

注

このサブクラスにおいては、下記の表現は以下に示す意味で用いる:

— “スパークギャップ” とは、冷電極を有し、かつ、短時間に多量の電気エネルギーを放電するために限って用いられる密閉型または非密閉型の放電装置を意味する。[4]

サブクラス内の索引

スパークギャップ.....	
回転するもの 7/00.....	
補助的なトリガ手段を含むもの 2/00.....	
特殊な適用:発振のための;整流のための 9/00;11/00	
過電圧避雷器;アークホーン 4/00.....	
その他のスパークギャップ 14/00.....	
細部 1/00.....	
スパークプラグ 13/00.....	
回路 15/00.....	
コロナ放電用装置 19/00.....	
製造, 保守 21/00.....	
イオン発生装置 23/00.....	
1/00	スパークギャップの細部
1/02	・アークを消す方法
1/04	・・磁気的な吹き消しを用いるもの
A	磁気吹き消し
B	・ホーン電極型
C	・・消弧室の構造
D	・・・磁性板, 非磁性板を用いるもの
E	・・再発弧型
F	・円板, 環状電極型
Z	その他のもの
1/06	・・・永久磁石をもつもの
1/08	・・消弧流体の流れを用いるもの
1/10	・・・アークの熱により固体材料から放出される消弧流体によるもの
1/12	・スパークギャップと構造的に組み合わされ, その作動を記録するための装置
1/14	・スパークギャップと構造的に組み合わされ過負荷に対してスパークギャップを保護し, または故障の場合に切り離すための装置 (H01T1/15, H01T1/16, H01T1/18 が優先; 火花間隙避雷器のための非常保護回路装置 H02H7/24) [4]
A	電力用
B	・切り離し装置
C	・・溶融部材とばね型
D	・・爆破剤型
F	弱電用
Z	その他のもの

1/15	・過大圧力に対する保護のためのもの[4]
A	過大圧力に対する保護のためのもの
B	・碍管型
C	・・放圧板の構造
D	・・アークガイドの構造
E	・タンク型
Z	その他のもの
1/16	・スパークギャップと構造的に組み合わされた直列抵抗
A	電力用
B	・並列ギャップ型
C	・水抵抗型
F	弱電用
G	非直線性抵抗 [ギャップレス避雷器 (過電圧保護抵抗器) の内, H01T が付与されるものをここに分類]
H	・素子の組成
J	・素子の構造
K	・碍管型
L	・・素子の支持構造
M	・モールド型
N	・タンク型
Z	その他のもの
1/18	・スパークギャップと構造的に組み合わされた電解装置
1/20	・アークの開始またはスパークギャップの点弧の促進手段[3]
A	電力用
F	弱電用
Z	その他のもの
1/22	・・電極の形状または組成によるもの[4]
1/24	・電極のための材料の選択 (H01T1/22 が優先) [4]
2/00	補助的なトリガ手段を含むスパークギャップ (トリガ回路 H01T15/00) [4]
A	電力用
B	・レーザートリガを用いるもの
D	衝撃電圧, 電流発生装置用
E	・レーザートリガを用いるもの
Z	その他のもの
2/02	・トリガ電極または補助的なスパークギャップを含んでなるもの[4]
A	電力用
D	衝撃電圧, 電流発生装置用
F	弱電用
Z	その他のもの
4/00	スパークギャップを用いる過電圧避雷器 (H01T2/00 が優先; スパークギャップを用いる過電圧保護回路 H02H9/06) [4]
A	電力用
F	弱電用
Z	その他のもの [過電圧に応答するものの, H02H9/04] [スパークギャップと並列

	抵抗の組合せ, H02H9/06]	4/14	・ ・ アークホーン (絶縁体と組み合わせられたもの H01B17/46) [4]
4/02	・ 細部[4]	A	アークホーン
A	電力用	B	・ ピン碍子, LP 碍子型
B	・ 故障表示 [故障, 劣化の検出は A]	C	・ 耐張碍子型
F	弱電用	D	・ 懸垂碍子型
G	・ 故障表示 [故障, 劣化の検出は F]	Z	その他のもの
Z	その他のもの	4/16	・ 直列に配列された複数のギャップを有するもの[4]
4/04	・ ハウジング (H01T4/06 が優先) [4]	A	電力用
A	電力用	B	・ 分圧素子を用いるもの
B	・ 碍管型	C	・ 始動ギャップを用いるもの
C	・ ・ 端子	F	弱電用
D	・ ・ 蓋板	Z	その他のもの
E	・ ・ 取付	4/18	・ ・ 積層スパークギャップの高さを減少させるための装置[4]
M	・ モールド型	4/20	・ ・ 電位分布を改善するための装置[4]
F	弱電用	A	電位分布を改善するための装置
Z	その他のもの	B	・ 分圧素子を用いるもの
4/06	・ 複数の過電圧避雷器のための取付装置 [4]	C	・ コンデンサ筒を用いるもの
F	弱電用	D	・ シールド装置を用いるもの
Z	その他のもの	E	・ 非直線性抵抗用
4/08	・ 保護装置と構造的に組み合わされているもの (スイッチ付のもの H01H9/14; ヒューズ付のもの H01H85/44) [4]	Z	その他のもの
A	保護装置と構造的に組み合わされているもの	7/00	回転スパークギャップ, すなわち 1 個以上の回転電極をもつ装置
B	・ ガス絶縁開閉器用	9/00	発振を起すために特に適合したスパークギャップ
C	・ ・ 単一, 並列ギャップ型	11/00	整流器として特に適合したスパークギャップ
D	・ ・ 非直線性抵抗型 [過電圧保護抵抗器; 避雷器, H01C7/12] [過電圧に応答する非直線抵抗素子, H02H9/04A]	13/00	スパークプラグ
E	・ カットアウト用	13/02	・ 細部
Z	その他のもの	13/04	・ ・ スパークプラグに電気的な接続をする手段
4/10	・ 単一のギャップまたは並列にされた複数のギャップを有するもの[4]	13/05	・ ・ ・ 干渉抑制またはシールド手段と組み合わせられたもの[4]
A	電力用	13/06	・ ・ プラグの一部を構成し, プラグを有害な環境から保護するカバー
B	・ 電力機器用	13/08	・ ・ スパークプラグの取り付け, 固定または封止, 例. 燃焼室内
C	・ 電極が移動可能なもの	13/10	・ ・ ・ バヨネット型結合によるもの
D	・ ギャップ間に粒体を充填したもの	13/12	・ ・ 器具または手により保持するのに便利なスパークプラグ上の手段
E	・ 回路	13/14	・ ・ 自己清浄のための手段
F	弱電用	13/16	・ ・ 熱を放散するための手段
G	・ プリント基板型	13/18	・ ・ 加熱するための手段, 例. 乾燥するためのもの
H	・ 炭素電極型	13/20	・ 電極または絶縁体の形状に特徴のあるもの
J	・ 同軸型	B	構造
K	・ 電気部品と組み合わせられたもの [例. 抵抗器, コンデンサ等との組み合わせ]	C	干渉抑制・シールド手段
L	・ ギャップ間に粒体を充填したもの	E	製造装置・方法
Z	その他のもの	Z	その他のもの
4/12	・ ・ ハーメチックシールされたもの[4]	13/22	・ ・ 絶縁体中に埋めた 2 個以上の電極をも
A	電力用		
B	・ 真空型		
F	弱電用		
G	・ ボタン型		
Z	その他のもの		

	つもの (2 個以上のスパークギャップを有するスパークプラグ H01T13/46)	19/04	・とがった電極を有するもの
13/24	・可動電極をもつもの (H01T13/28 が優先)	21/00	スパークギャップまたはスパークプラグの製造または保守のために特に適合した装置または方法
13/26	・電極を曲げないでスパークギャップを調節するためのもの	21/02	・スパークプラグに関するもの
13/28	・球面形状の電極をもつもの, 例. 球型	21/04	・清浄 (自己清浄のための手段 H01T13/14; スパークプラグの清浄のための研磨剤吹き付け装置 B24C3/34)
13/30	・自由に動き得るように支持されたものの	21/06	・スパークギャップの調整 (ギャップ調整用可動電極を有するスパークプラグ H01T13/26) [4]
13/32	・接地電極の形状に特徴のあるもの	23/00	非密閉気体, 例. 大気, の中へ導入されるべきイオンの発生装置[4]
13/34	・絶縁体への電極の取り付けに特徴のあるもの, 例. 埋設		
13/36	・絶縁体と本体との間の結合に特徴のあるもの, 例. セメントを使用するもの		
13/38	・絶縁体としての材料の選択		
13/39	・電極のための材料の選択[4]		
13/40	・他の装置と構造的に結合されているもの (燃料噴射装置と結合されまたは組合わされているもの F02M57/06; 内燃機関の他の部品と構造的に結合されているもの F02P13/00)		
13/41	・干渉抑制またはシールド手段をもつものの[4]		
13/42	・磁気的なスパーク発生器をもつもの		
13/44	・変成器をもつもの, 例. 高周波点火用		
13/46	・2 個以上のスパークギャップをもつもの		
13/48	・スパークを見るようにする手段をもつものの		
13/50	・ギャップのイオン化のための手段をもつもの (H01T13/52 が優先) [4]		
13/52	・表面に沿っての放電に特徴のあるもの		
13/54	・部分的に閉じた燃焼室内に配置した電極をもつもの		
13/56	・容易に組み立てたり外したりできる部品を持つことに特徴のあるもの		
13/58	・試験 (内燃機関点火時の火花特性の試験 F02P17/12) [2011. 01]		
13/60	・電気的な特性の試験[2011. 01]		
14/00	グループ H01T2/00-H01T13/00 に分類されないスパークギャップ (コロナ放電を生じるための装置 H01T19/00) [4]		
15/00	スパークギャップのために特に適合する回路, 例. 点火回路 (内燃機関のための点火回路 F02P; 燃焼装置のための電氣的スパーク点火 F23Q; スパークギャップを用いる保護回路 H02H9/06) [4]		
A	放電記録回路		
B	劣化検出回路		
C	点火回路		
Z	その他のもの		
19/00	コロナ放電を生じるための装置 (電子写真要素の帯電のためのもの G03G15/02) [4]		
19/02	・コロナリング		